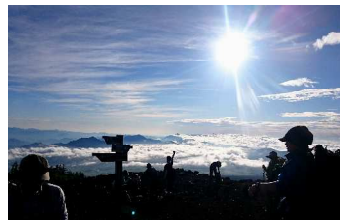


つばめ通信

『山中湖中学校だより』 平成27年度
平成27年4月21日発行 第8号



3連休の中日19日に、一番最初に担任した教え子達(すでに50歳)の誘いで富士山に登ってきました。実に30年ぶりの富士登山です。

もう二度と登るものかと密かに誓っていたものの、教え子達に「根性なし」と思われるのもシヤクなので、奮起しての挑戦でした。

果たせるかな、日本一の頂に立った時の感激は得も言われぬ達成感に満ち、それまでの苦しさを忘れさせてくれます。途中の眺望の素晴らしさもさることながら、頂上で飲んだ1杯400円の缶入りの甘酒は、これまで飲んだどんな飲み物よりも美味でした～♪\(^o^)/

てっぺんに立った感動と同時に、その感動の代償に苦しむ昨日&今日の足腰の痛みですが、それもまた富士登山の醍醐味と思って余韻を楽しんでいるところです。

有意義な夏休みを!



【足や体幹を鍛える!】

自分の体を支える「脚」を育てるのも、背骨を支える「体幹」の筋肉を獲得するのも子ども時代です。この夏休み「歩く・走る」機会を意識して作り出してみましょう!

【脱メディアで言葉の力を!】

メディア漬けで育った子どもたちは、自分の思いや状況を言葉で伝える技術を苦手とする傾向があります。夏休みの間、外に出ているいろいろな人と言葉を交わし合い、言葉を通して人との関わり合いを築く機会をつくり出してみましょう!

【人のために…!】

人から「ありがとう」と言われたことのない子どもに「自己肯定感」は決して生まれません。人のために自分の時間とエネルギーを使うことで、子どもは大きく変身します。夏休みは「人のために」できる何かを探してみましょう!

演劇公演

三島由紀夫近代能楽集より
「弱法師(よろぼし)」



合唱交歓会

地区懇談会

学期末を目前にした7月17日(金)は、盛りだくさんの活動が生まれ、終日中身の濃い一日になりました。

午前中に行われた「レクチャー&ワークショップ」では、三島由紀夫や弱法師についての学習、さらに発声法などの演劇技術を体験。いろいろな面で目から鱗の学習になりました。

午前中の事前学習を受けての午後からは、劇団J-Theaterによる三島由紀夫作品から「弱法師」の演劇公演。中学生にとっては、内容的に難解なものがあったかもしれませんが、超一級の演出による人間の深層心理をえぐる演劇の迫力に、子どもたちは釘付けになっていました。



引き続き行われた「合唱交歓会」では、どの学級どの

学年も、これまでの取り組みの成果を思う存分発揮できた様子で、その達成感に瞳を輝かせていました。残念ながら参観できなかった保護者の皆様には、CATVでの放映を通してご覧いただければと思います。



そして最後は、演劇公演や合唱の余韻漂う中で、夏休みを前にしての「地区懇談会」が開催されました。参加者はやや少なくて残念でしたが、夏休み中の過ごし方などについて確認され、有意義な話し合いの機会になりました。

1年 総合学習発表会



5月に実施された1年生の校外学習(お台場散策)の学習成果を改めて確認し、これからの学年集団づくりに生かしていくことを目的に、7月9日(木)、「総合学習発表会」

が開催されました。

発表会では、各グループごとに見学時の様子や感じたことを要領よくまとめ、PCを使って上手に発表できました。発表の最後には、「これからの学校生活に生かしていきたい!」との感想も多く述べられ、成果を上げた校外学習であったことが感じられました。

また、平日にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様にも発表会を参観していただきました。ありがとうございました。



2年 俳句授業

7月15日(水)、風生庵支援協議会のご協力をいただき、山中湖村文化協会会長:高村恵美子さんを講師にお招きして、2年生を対象とした「俳句教室」を実施しました。



俳句の実作を中心に、高村さんからのアドバイスや励ましを受けながら、子どもたちは、五・七・五のリズムに純粋な思いを詠み込んでいました。傑作もたくさん生まれました。この授業を通して作られた俳句は、秋の山中湖村文化祭に出品され、山中公民館に展示されることになります。



子どもたちの力作の数々にご期待ください。